

みどりみらい 2nd SEASON ぐんじとしのりの議会報告

2006/04/10 Vol. 84 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362
E-MAIL ID / mmirai@kitemachi.com

印西市議会/平成 18 年第 1 回定例会報告 (3)

いつもお世話になっております。印西市議会第 1 回定例会 (3 月議会) は、3 月 23 日 (木) までの会期にて行われ、平成 18 年度一般会計予算案等 36 議案を審議し、閉会しました。今回は、成立した下水道事業特別会計予算を通して「下水道事業について」ご報告していきたいと思っております。

印西市の下水道事業をどう考えますか？ 下水道特別会計予算～12 億 4 千万円

本年度の下水道事業特別会計は、市民の皆様にご負担いただく使用料の値上げに伴う収入の増額や、下水道工事の減により、歳入歳出予算は 12 億 3700 万円となりました。(平成 18 年度は小林地区にて公共下水道工事が行われる予定です。) - 下水道の運営に関わる費用の主な財源としては、受益者負担金(下水道が無い地区に下水道を敷設した場合の負担費用)下水道使用料(本年度の使用料予算としては 7 億 435 万 7 千円となります。)そして一般会計繰入金*からなります。

*下水道事業には使用料金のほかに市民税をはじめとする税金も事業予算として投じられています。(印西市一般会計予算からは下水道事業会計繰出金として 3 億 9899 万 2 千円が歳入として繰入れられています。)

私は下水道事業会計特別予算案に反対しました。

昨年 12 月議会で下水道料金の改定に際して、私は現状を鑑みて「賛成」しました。しかし、今回の当初予算においては 12 月議会でお願っていた案件が全く考慮されておらず、「値上げして下水道財政は問題ない。」という説明に終始したように感じたため、予算案に反対しました。

(1) 12 月議会で何が審議されたか。

昨年 12 月議会で下水道料金の改定に際して、「利用料金の値上げの議案」の提案説明を受けるまでは私は値上げ反対だったのですが、12 月議会の本会議では私は現状を鑑みて「賛成」しました。

当初反対だと考えていた理由：

「市民への負担をお願いする前に自らの経営努力で汚水にかかる費用を削減することが前提」だと考えていたため。また、「市民が下水道財政にもっと理解を示さなければ、値上げへの理解も得られない。このためには情報公開が必須であり、その努力が見られない。」と判断していたため。

賛成した理由：

12 月議会の料金改定議案の提案にあたり、以下のような説明がありました。

- 1) 今後 4 年間の使用料対象経費を算出した結果、年間約 2 億 5 千万円の赤字がでるため、一般会計からの充当が必要である。しかし、下水道区域外の方にも負担をお願いすることとなるので、全て使用料収入で賄うためには、約 44.3% の値上げが必要とされる。しかし、これは使用者に対する負担が大きくなりすぎるために 4 年後の改定を含めた 2 段階での改定**とし、今回は 2 分の 1 を目安とした平均改定率 24.5% の引き上げにとどめることとした。

** 4 年後の料金改定については、その時点の財政事情を踏まえて改めて検討するということとなります。

- 2) 現行 (昨年 12 月時点) の料金体系は、昭和 61 年度以降、実質据え置き状態にあるため 100 m³ を越える区分は同一料金があるが、千葉 NT や松崎工業団地 (牧の原地区南側約 1 km) の進捗に伴い大口使用者の進出が見込まれるため 100 m³ を越える区分を 3 分割した。

- 3) 料金の値上げに当たっては使用料が少ない一般家庭に配慮するとともに、現行 (昨年 12 月時点) では基本料金が県内で最も低いレベルであるため、県下市町村平均に準じるとした。

- 4) 審議会でも市における経営努力として「維持管理経費のコストダウンの徹底」他4項目にわたる料金改定に伴う附帯要件が付けられていた。

以上のような説明や多くの議員からの質疑により「今回(12月議会時点)は仕方ない」と判断しました。

(2) 予算委員会では何が質疑されたか？(抜粋して以下に審議内容をお伝えします。)

ぐんじ：12月議会の際に下水道運営審議会の中で下水道事業のありかたを検討してくださいと

私は申し入れを行いました、平成18年度では審議会はどのようになっていますか

下水道課長：審議会の目的が使用料金の改定になっていますので、検討していきたい。

ぐんじ：審議会は料金を値上げすることだけに関しての審議会か？

下水道課長：(下水道事業のありかたについては審議会の開催の是非を)検討していきたい。

ぐんじ：12月議会の(下水道の値上げの)審議では、「ただただ値上げをするのではなくて、市民が下水道事業、下水道財政に関してもっと理解を示さないと、値上げをすることに納得できないのではないか。」と伝え、苦渋の選択で賛成した。しかし、18年度は値上げをしたからそれでよいと考えているのか？下水道事業のありかたを(審議会)で検討すべきではないかと考えているが、市長はどう考えるか？

市長：(審議会は)諮問委員会であり、案件がなければ審議会をお願いする事態にはないということで課長が答弁したと思いますが、今後は下水道課の中で議論をして、その後私のほうとしては諮問すべき事態が発生した場合には審議会の予算措置をいただいて、審議会の意見をお聞きしたいということです。あくまでも諮問でございますので、私の方の態度がはっきり決まらない限りは諮問できないということなので、私のほうで、執行者側と態度を決めてから(審議会開催の)予算措置をしたいと思っておりますので、ご理解いただきたい

(3) 今後の下水道のありかたについて～市民にどのように説明されているのか。

私は、12月議会、そして今回の3月議会において、下水道事業に関して、以下に挙げるような項目を例に示しながら、印西市として市民に市の考え方を示し、市民とともに下水道事業のありかたを検討していくべきだと申しあげました。

高度処理による水質保全：都市における下水道の役割として、下水中の窒素・リンなどを高度に処理し、またはその処理水を有効利用することで、望ましい水循環をはかるべきであり、水環境の維持管理に貢献することが印西市に求められる。

下水道資源・施設の有効利用：下水道は、処理水、下水汚泥、下水熱等の多くの利用可能な資源・エネルギーを持っており、省エネ・リサイクル社会の実現と地球環境保全に向けて、その有効利用が求められます。印西市で有効利用策をかんがえていくべきです。

老朽施設の改築更新：老朽化した下水道施設については、適正な維持管理を行うとともに、適宜改築・更新を行い、下水道機能の確保・向上を進めていくべきであり、中長期的な計画を市民に提示すべきです。

望ましい水循環・水環境を創造：近年、潤いや安らぎを得る場として、親しみやすい水辺の要求や水への関心が高まっており、安全な飲み水の要請。頻発する湧水問題など、水を取り巻く社会の状況は非常に複雑になっています。このような様々な水問題の解決、望ましい水環境を創り出す、積極的な取り組みに印西市は関わっていくべきです。

ぐんじとしのりより市民の皆様へ

印西市の下水道審議会は「下水道の使用料および受益者負担金に関する事項について」のみを審議する機関であることが判明しました。勿論、職員が下水道事業の今後を考えていくのは当然ですが、私は市民も巻き込んで今後の印西市の下水道事業の未来像を考えていくことを求めています。

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。あるべき市政の姿を求めて皆様と手を携えていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

ぐんじとしのり